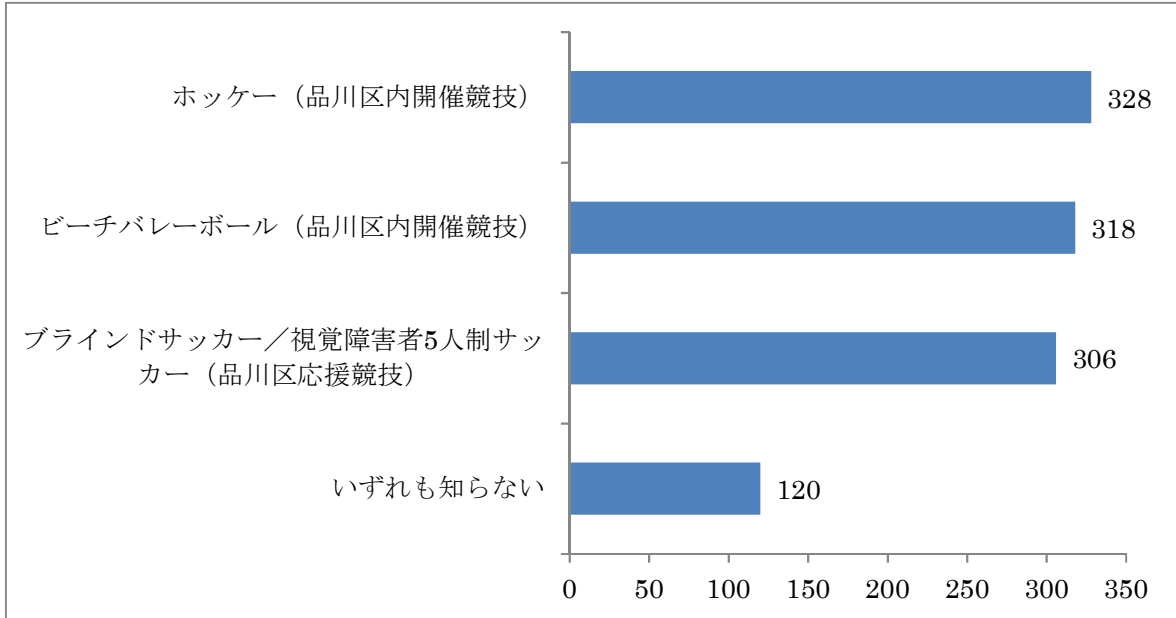


令和3年度 電子アンケート設問

オリンピック・パラリンピックについて（回答数511）

◆設問1

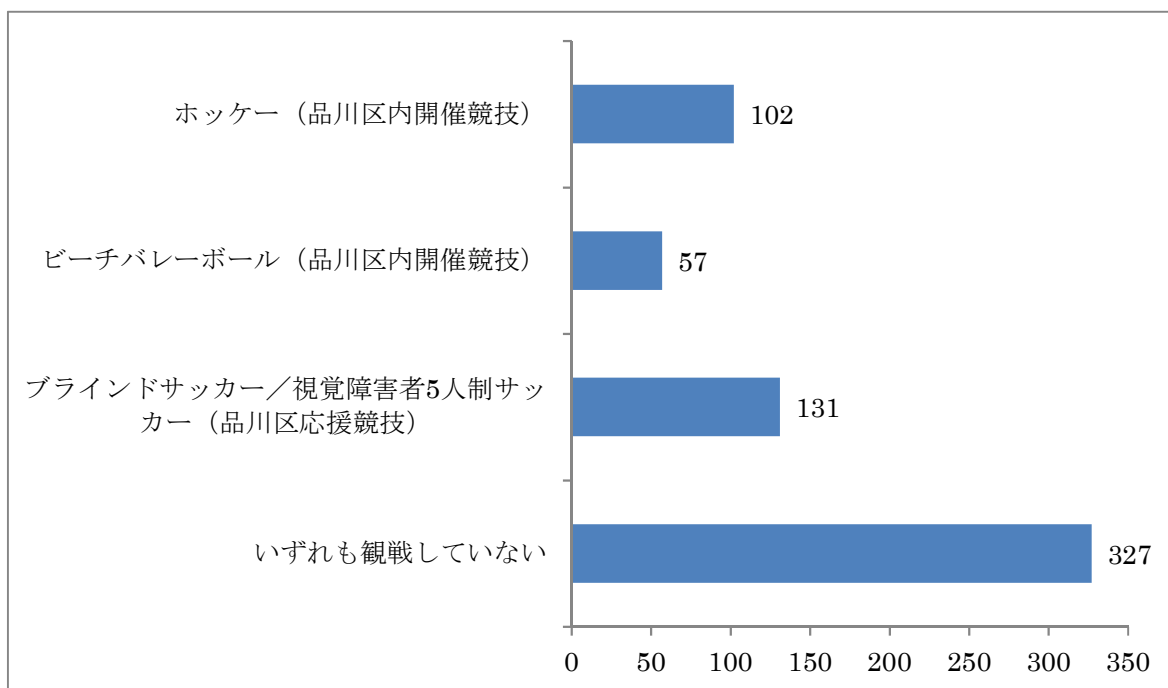
東京2020大会で行われた、区内開催競技（ホッケー・ビーチバレーボール）・区応援競技（ブラインドサッカー）を知っていましたか。（複数回答可）



東京2020大会で行われた、区内開催競技（ホッケー・ビーチバレーボール）・区応援競技（ブラインドサッカー）を知っていたか聞いたところ、「ホッケー（品川区内開催競技）」328人、「ビーチバレーボール（品川区内開催競技）」318人、「ブラインドサッカー／視覚障害者5人制サッカー（品川区応援競技）」306人、「いずれも知らない」120人という結果になりました。

◆設問 2

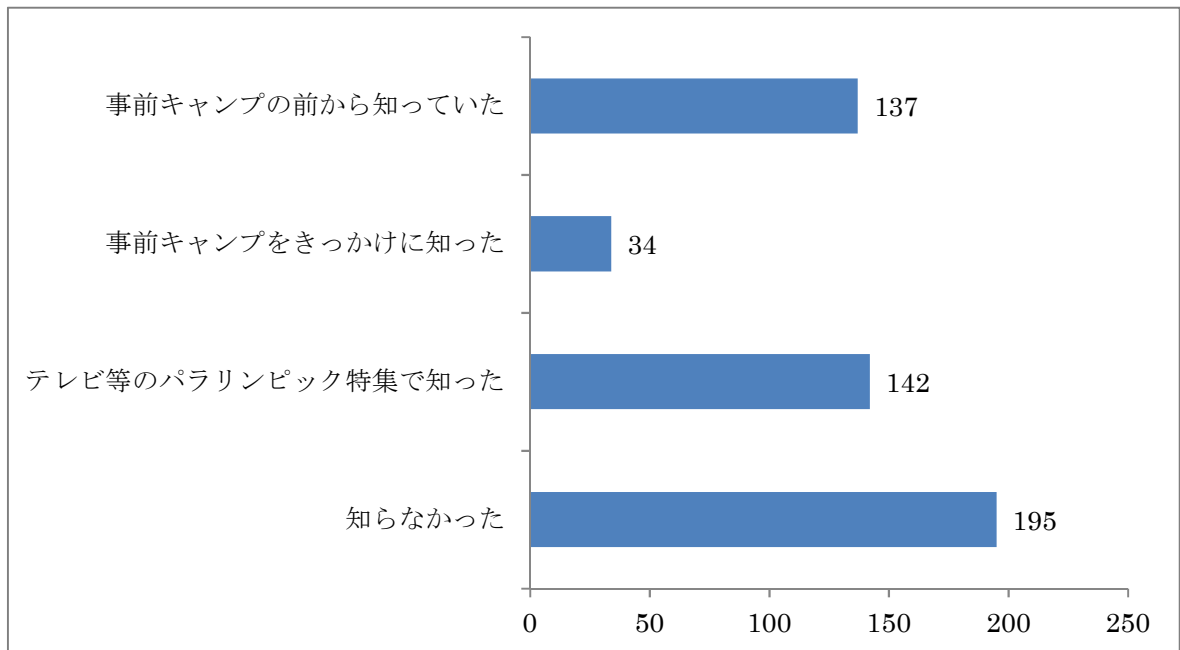
区内開催競技・区応援競技をテレビや動画などで観戦しましたか。(複数回答可)



区内開催競技・区応援競技をテレビや動画などで観戦したか聞いたところ、「ホッケー(品川区内開催競技)」102人、「ビーチバレーボール(品川区内開催競技)」57人、「ブラインドサッカー／視覚障害者5人制サッカー(品川区応援競技)」131人、「いずれも観戦していない」327人という結果になりました。

◆設問3

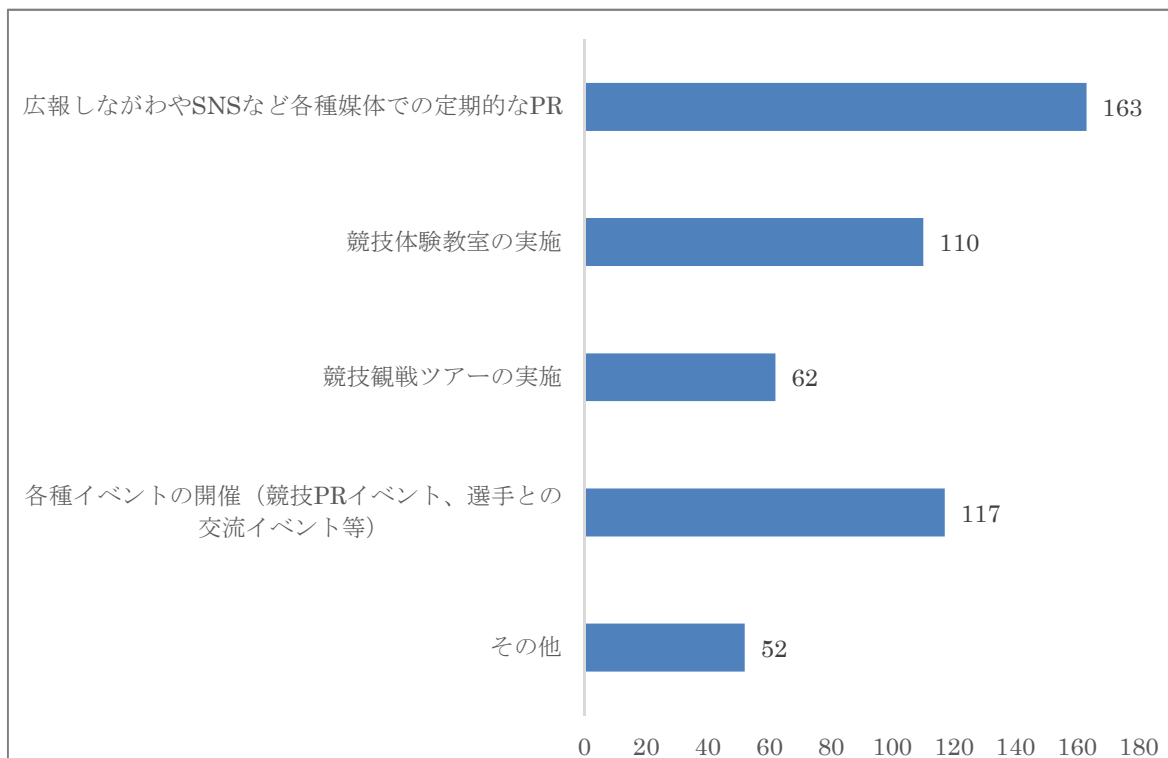
東京2020パラリンピック競技大会の前に、コロンビア共和国のボッチャ選手団およびパラ・パワーリフティング選手団が区内で事前キャンプを行いました。ボッチャ、パラ・パワーリフティングという競技を知っていましたか。



ボッチャ、パラ・パワーリフティングという競技を知っていたか聞いたところ、「事前キャンプの前から知っていた」137人、「事前キャンプをきっかけに知った」34人、「テレビ等のパラリンピック特集で知った」142人、「知らなかった」195人という結果になりました。

◆設問 4

今後、区内開催競技・区応援競技・事前キャンプが行われた種目を、継続して区で普及するために有効なものは何だと思いますか。



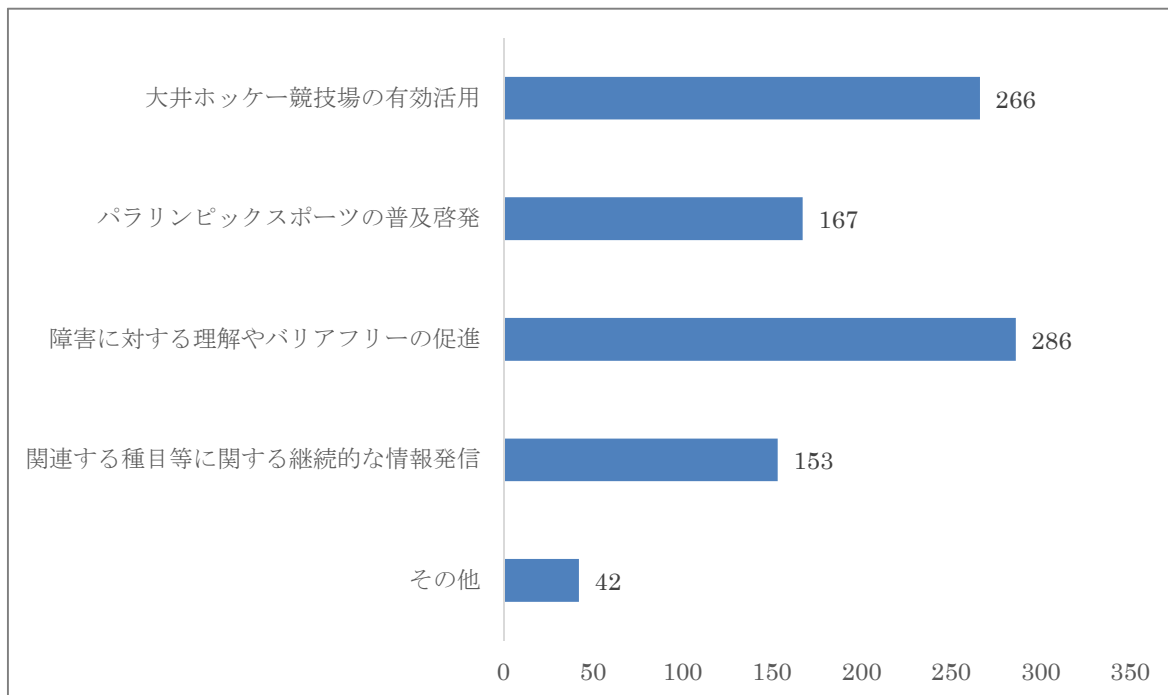
今後、区内開催競技・区応援競技・事前キャンプが行われた種目を、継続して区で普及するために有効なものは何だと思うか聞いたところ、「広報しながわや SNS など各種媒体での定期的な PR」 163 人、「競技体験教室の実施」 110 人、「競技観戦ツアー」 62 人、「各種イベントの開催（競技 PR イベント、選手との交流イベント等）」 117 人、「その他」 52 人という結果になりました。

「その他」意見（抜粋）

- ・ SNS をやってない人もいるので PR 方法を SNS 以外にも考えるべき
- ・ 学校や職場で PR のプリントを配布する
- ・ 区内企業、小学校等にチームを作るサポートをする
- ・ 区内中学校に部活動を作る

◆設問5

東京2020大会のレガシーとして、区に今後求めることは何ですか。(複数回答可)

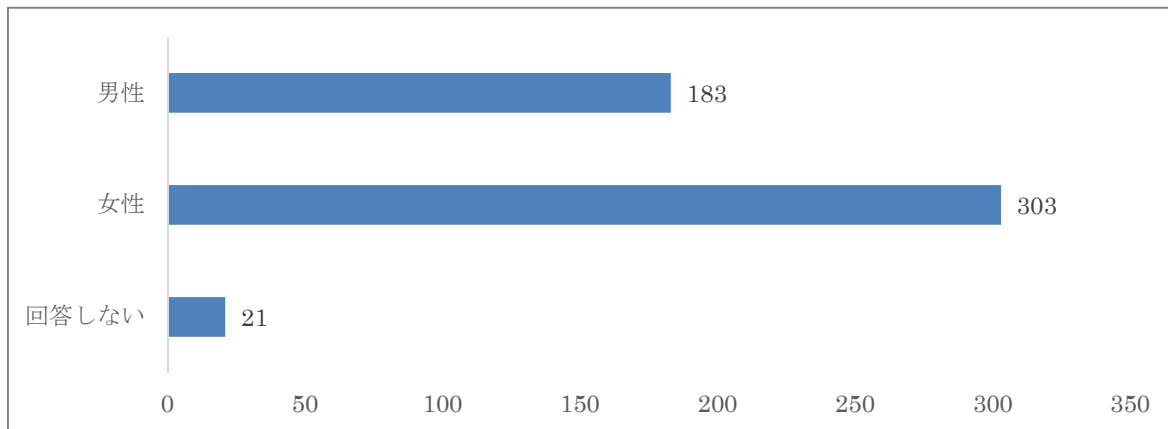


東京2020大会のレガシーとして、区に今後求めることは何か聞いたところ、「大井ホッケー競技場の有効活用」266人、「パラリンピックスポーツの普及啓発」167人、「障害に対する理解やバリアフリーの促進」286人、「関連する種目等に関する継続的な情報発信」153人、「その他」42人という結果になりました。

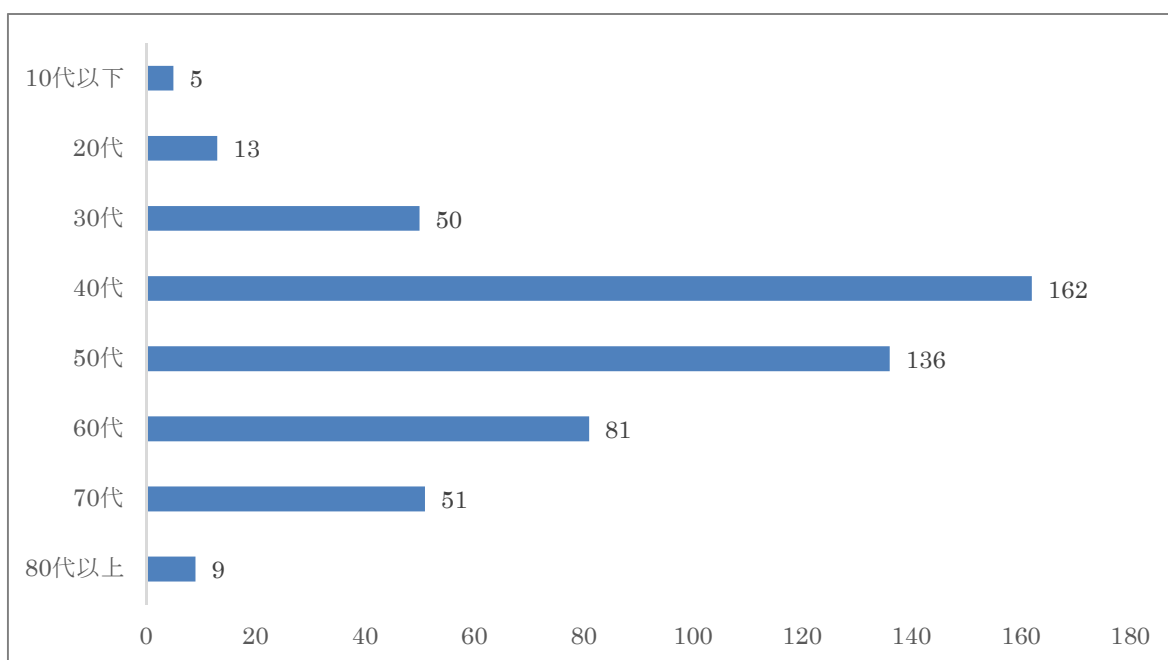
「その他」意見（抜粋）

- ・大人も含めて気軽にスポーツができる環境
- ・特定競技以外の用途での活用、一般開放
- ・スケートボードの練習できる場所を作ってあげてほしい。禁止されている公園でやっている若者にも練習場がないから公園でやってるといふ言い分があるみたい。
- ・残念ながら、パラリンピックは、圧倒的に国民全体への認知度が他国と比較して低い。政府以外にも企業や学校で認知に関してサポートしていく必要がある。

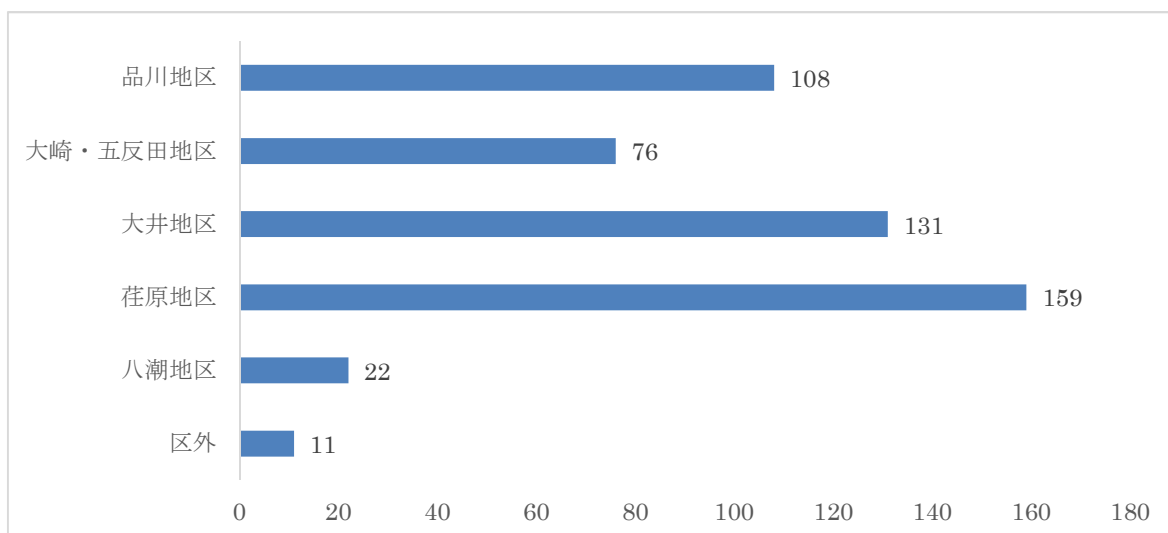
◆ F 1 回答者の性別



◆ F 2 回答者の年齢



◆ F 3 回答者の居住地



～ご協力ありがとうございました～